

## 令和3年度 新規(拡充)事業

新規

学校施設長寿命化改修事業

316,962千円

教育振興課

「荒尾市学校施設等長寿命化計画」に基づき、老朽化または機能低下が進行している学校施設について、計画的に修繕や改修を計画的に進めていく。

令和3年度は、清里小学校、荒尾海陽中学校について外壁補修・屋上防水設計業務委託を実施する。また、桜山小学校について外壁及び屋上改修工事を行う。

拡充

小中学校ICT環境整備事業

148,410千円

教育振興課  
学校教育課

文部科学省のGIGAスクール構想及び本市の教育ICT整備計画に基づき、令和2年度に整備した学習者用・指導者用コンピューター(タブレット)等の実践活用を図る。また、ICT支援員の増員や、校務支援システムの本格導入により、活用に向けての支援体制の充実、教育の質の向上及び教職員の負担軽減を図る。

拡充

就学援助(小中学校)事業

1,538千円

教育振興課

経済的に厳しい家庭(要保護及び準要保護生徒の保護者)に対して、新入学学用品・通学用品費、学用品・通学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、給食費、医療費、入学準備金を支給しているが、令和3年度から、特に支援を要する最終学年に対し、効果的であると見込まれる「卒業アルバム代等」費目を新たに追加する。

# 令和3年度 新規(拡充)事業

拡充

中学校フリースクール事業

6,064千円

学校教育課

荒尾第三中学校校内フリースクール「ハートフルルーム」をより充実したものにするために、管理職や指導員だけでなく、教職員全員向けの講演会等を開催する。また、アウトリーチ型の支援充実のため専用の公用車を購入する。

拡充

授業改善アドバイザー活用事業

805千円

学校教育課

3年間で構築した初期あらおベーシックを進化させ、学び方を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続ける子どもの育成を目指す。すべての子どもを活躍させる授業改善及び学力向上に向け、アドバイザーから指導を受ける。

(ねらい)

- ①学力の2極化に対応(進化型ベーシック)
- ②中学校の授業改善を更に進める
- ③児童生徒1人1台のタブレットを活用した未来型ベーシックの推進

# 令和3年度 新規(拡充)事業

拡充

地域学校協働活動事業

3,162千円

生涯学習課

地域と学校が連携・協働して地域全体で子どもの成長を支えていく。推進員を6名配置。令和2年度から統括推進員を配置、本部も設置し、令和4年度コミュニティスクールとの連携強化を図る。令和2年度～令和4年度県事業を活用した研修実施。令和3年度はボランティアのリスト化も図る。

拡充

あらか放課後子どもスポーツ教室事業

4,185千円

生涯学習課

放課後に学校内で運動教室を実施し、児童が楽しみながら運動する経験を積むことで、体力の維持向上を図り、スポーツに対する興味や関心も高めていく。

令和元年度は3校で実施。令和2年度は新型コロナで実施できず。令和3年度は4校で実施予定。

新規

市立図書館移転整備事業

29,160千円

生涯学習課

魅力あるまちづくりの推進を目的に荒尾市立図書館をあらかシティモールに移転整備を行う。学校との連携やデジタルライブラリーを活用し、市民の交流の場となるような滞在型図書館を目指していく。令和3年度は、設計や施工、備品や図書購入等の整備を行い、令和4年4月の開館を予定している。

# 令和3年度 新規(拡充)事業

拡充

宮崎兄弟顕彰事業

1,520千円

文化企画課

地元の偉人である宮崎兄弟の顕彰し、国内外への発信を行い、市内の子ども達が郷土に誇りを持ち、世界と積極的に交流を行える環境づくりを目的とする。

令和3年度は、宮崎滔天生誕150周年記念として、イベント配付用のグッズなどを作成する。

拡充

世界遺産まちづくり人材育成事業

1,764千円

文化企画課

万田坑及び専用鉄道敷跡に対する世界遺産としての価値や魅力を理解し、これを活用したまちづくりを行える人材を育成する。

令和3年度は、万田坑子ども用パンフレットの2万部の増刷を行い、市内全小中学生に配付し、郷土教育の推進に寄与する。